

弓削商船高等専門学校数理・データサイエンス・AI教育プログラム

令和4年度自己点検・評価結果

会議名称：自己点検・評価委員会

評価日時：令和5年3月24日（金）

開催場所：弓削商船高等専門学校

評価項目：文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の審査項目の観点による評価

自己点検・評価の視点	内部評価	評価理由
プログラムの履修・修得状況	B	本教育プログラムは、各学科の必修科目で構成されているため、学生全員が履修する。 2022年度の該当科目については途中退学者を除き、ほぼ全員が修得した。
学修成果	B	プログラムを構成する科目について、成績評価の平均点は良好であった。特に情報工学科においては、平均点が80点以上あり、成果を上げている。また、授業評価アンケートを行っており、「学習内容を理解し興味をもった」のアンケート項目を分析することで学生の理解度を把握しているが、ほとんどの科目が4以上（5段階）であり、よく理解できていると言える。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	B	授業評価アンケートを行っており、「学習内容を理解し興味をもった」のアンケート項目を分析することで学生の理解度を把握しているが、ほとんどの科目が4以上（5段階）であり、よく理解できていると言える。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	B	本教育プログラムは必修科目で構成されている。そのため、本校に入学するすべての学生が教育プログラムの履修者であるため、履修を促すための特別な推奨を行っていない。ただし、授業評価アンケートを通じて、授業における学生の興味関心の確認は必ず行っている。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	B	本教育プログラムは必修科目で構成されている。そのため、本校に入学するすべての学生が教育プログラムの履修者であるため、履修率100%である。

教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	—	令和5年3月末時点で教育プログラム修了者の卒業者はいない。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	B	企業へのアンケートを行い、87社から回答を得た。その中で、パソコンの操作を強化してほしいとの意見があり、教育プログラムの充実が必要である。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	B	本教育プログラムに関わる科目において、代表的な事例を紹介しつつ、その利便性を講義したり、社会におけるデータ・AI利活用・社会で起きている変化を講義するなど、「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解するよう取り組んでいる。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	B	授業評価アンケートを行い、学生からの意見を取り入れ、教務委員会において分析することで、より「分かりやすい」授業とするような体制を取っている。

A：審査項目の観点を上回る成果を達成した。

B：審査項目の観点通りの成果を達成した。

C：審査項目の観点通りの成果を達成できなかったが、達成に向けての対応策が立案され、対応に着手している。

D：審査項目の観点通りの成果を達成できなかった。さらに、達成に向けた対応策が立案されていない。